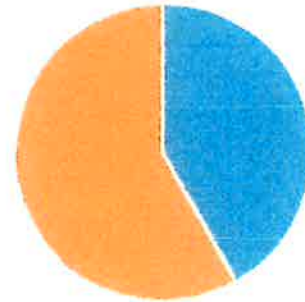


Forms によるアンケート調査 小学部9名 中学部5名 高等部 14名 その他3名 計31名

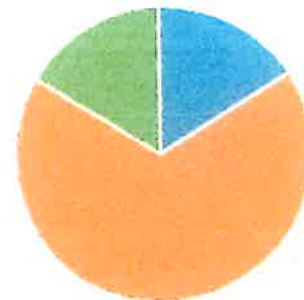
1 【教育目標】 教育目標：学校教育目標の具現化へ向け、諸計画等を連動させ取り組んでいる。

● 良い。	13
● やや良い。	18
● やや不十分。	0
● 不十分。	0



2 【教育課程】 教育課程は、カリキュラムマネジメントの視点を押さえながら、児童生徒の実態等に即し、適切に編成されている。

● 良い。	5
● やや良い。	21
● やや不十分。	5
● 不十分。	0



- ・ 系統性のある編成が必要。令和6年度の編成に向けて各学部や教育課程委員会等で検討する。
- ・ 目標を立てる際、評価する際に本当に生徒の実態に則しているのか？という疑問がある。・ 次年度は児童数減のため、隣学部合同の活動も考えていきたい。
- ・ 本校の子どもたちに、全教科を毎学期3つの柱で目標立てて評価することは実態にあっていないのではないか。教育課程の見直しや評価方法の再検討が必要だと思う。
- ・ 同じ教育課程においても、生徒間の実態の差が大きいことが教育課程編成の課題
- ・ 次年度に向けて学部で意見を出し合い、話し合うことができた。

・ 職員の回答として、良い(5名)、やや良い(21名)と比較的高い評価となっているが、やや不十分(5名)という回答もみられた。

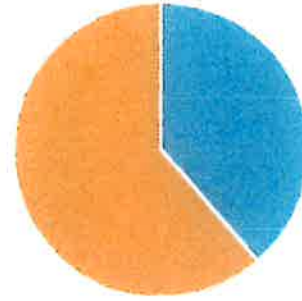
・ (教育課程係回答)率直なご意見ありがとうございます。係といたしましては、法的根拠や国・県からの通達において作成が義務づけられている様式等に関して、それを無視することはできないと考えております。しかし県の作成手引き19ページにおいて、わずかながらではありますが、学校裁量で決められる部分もあるかと思われれます。また反省等をいただいて学校裁量で負担の軽減ができる部分に関しては次年度再度教育課程編成委員会等で検討できたらと考えております。

・ 令和6年度の教育課程編成に向けて各学部や教育課程委員会等で検討し、話し合ったこと、確認できたこと等を教育課程に反映させていければと考えています。

3

【個別の教育支援計画】 児童生徒の実態と教育的ニーズを把握し、保護者や関係機関等と十分に連携して計画されている。

● 良い。	12
● やや良い。	19
● やや不十分。	0
● 不十分。	0

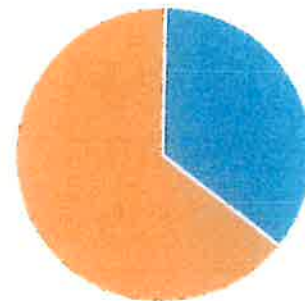


・職員の回答として、良い(12名)、やや良い(19名)と比較的高い評価となっている。またやや不十分、十分という回答はみられなかった。今後も学習指導要領で示された資質・能力を児童生徒が卒業するまでの間にどんな力をどのようにして身につけさせるのか、実態が重度であれば、どのように進めればいいのか。職員間でしっかり情報等を共有いくことが大事になってきます。

4

【家庭との連携】 児童生徒の支援や指導について、保護者に十分な説明がなされ、良好な信頼関係を築くことができている。

● 良い。	11
● やや良い。	20
● やや不十分。	0
● 不十分。	0

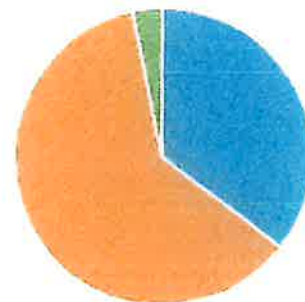


・職員の回答として、良い(11名)、やや良い(20名)と比較的高い評価となっている。またやや不十分、十分という回答はみられなかった。今後も授業参観、保護者面談、学校行事、お便り日を活用するなどして、家庭との連携を深めていければと考えます。

5

【関係機関との連携】 児童生徒の適切な支援や指導について常に追究し、関係機関と緊密な連携と協働が図られている。

● 良い。	11
● やや良い。	19
● やや不十分。	1
● 不十分。	0



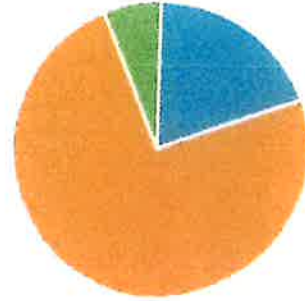
・センターと、適切な時期（できれば年度始め）にPT 見学やカンファレンス等、情報共有を行うことが難しい。

(支援部回答)リハ見学は感染状況によって当初の予定で実施できず2学期までまたがってしまいました。次年度も今年度同様5～6月で実施できるよう計画しています。センター利用者対象(学生以外も含まれます)のカンファレンスは年度初めに行われる利用者もいれば1月～2月に設定される方もいます。利用者に関わるスタッフの日程調整のうえ行っていることをご理解していただき、伝達が必要な事項は他職員や新担当へ引継ぎができるようお願いいたします

6

【年間指導計画】 児童生徒の実態等に即し、教科等の関連や系統性を踏まえながら、効果的な単元や題材が適切に計画されている。

● 良い。	6
● やや良い。	23
● やや不十分。	2
● 不十分。	0



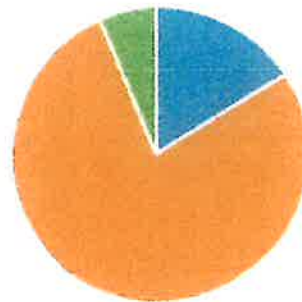
- ・年間指導計画については、児童一人一人の個別の指導計画の内容を十分踏まえたものにはなっていないので、それができるよう作成の手続き等を検討する必要があると感じます。
- ・生徒の実態に応じた単元や題材等を意識し計画することはできているが、教科等の関連や系統性を踏まえているかという点、十分とはいえない。

・今年度、職員研修で取り組んできたことを職員間で共有していきながら、学習指導要領で示された「内容のまとめ」や評価規準について原理原則をおさえながら、学習グループに係る年間指導計画を作成していければと考える。また今後も研修等で理解を深めながら、本校の実態に応じた効果的で活用できる年間指導計画を作成していきたいと思います。

7

【個別の指導計画】 児童生徒の実態等に応じて、各教科の年間指導目標を踏まえ、学習目標や具体的な学習活動と手立てが適切に計画されている。

● 良い。	5
● やや良い。	24
● やや不十分。	2
● 不十分。	0



- ・全教科を3つの柱で目標立てすることは、本校の子どもたちには負担過重だと思う。個別の指導計画の立て方を、より本校の児童生徒の実態に寄り添った内容に見直してほしい。

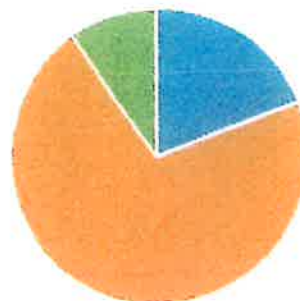
- ・生徒の実態に応じた学習目標や学習活動と手立てを意識して計画することはできているが、各教科の年間指導目標が担当生徒にとっては高いことが課題となっている。

・職員の回答として、良い(5名)、やや良い(24名)と比較的高い評価となっているが、やや不十分(2名)という回答もみられた。個別の指導計画に関しては、今後も研修等で理解を深めながら、職員間で学習指導要領で示された「内容のまとめ」や評価規準についてもしっかりおさえながら、「学びの履歴」として有効に活用できるツールとして行ければと考えています。

8

【学習評価】 個別の指導計画に沿った目標準拠評価が行われ、関係者間（ヨコとタテの繋がり）で学習の成果と課題を共有し、引き継ぐ事ができている。

● 良い。	6
● やや良い。	22
● やや不十分。	3
● 不十分。	0



・生徒の実態に合わせて、学習指導要領に基づいての指導に取り組んでいるところですが、生徒の受け止めや反応からどう評価したらよいかは常に難しいところである。

・授業時間ギリギリ目一杯の取り組みも良いが、授業の最後にみんなで共有できる場（児童生徒の成長を確認する場）があればより児童生徒の学習の成果をみんなで共有できるのではと感じている。授業の記録はしてるので、それを短い時間で簡単に情報共有するだけでも十分意義深いと思う。

・全教科を3つの柱で目標を立てなければならず、すべてあわせると30以上の目標設定となっており、その一つ一つの目標設定も適正なのかかわからず、それに対する評価が十分にできているかも疑問である。評価項目が多すぎて、逆に子どもたちの本当の学習成果や課題は見えづらい。

・職員の回答として良い(6名)、やや良い(22名)と比較的高い評価となっているが、やや不十分(3名)という回答もみられた。(研修部回答)評価に関する率直なご意見ありがとうございます。

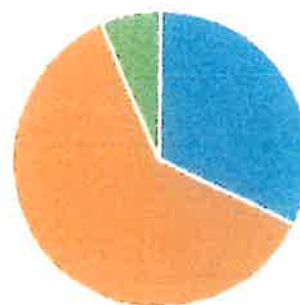
重度重複の児童生徒の評価は難しいことはよく分かります。評価の妥当性や信頼性が高められるようにするための手立ての一つとして、学習指導要領には「評価結果について教師同士で検討すること」に学校として組織的に取り組むことが大切と示されています。反省の記述にもある通り、まずは、学習グループのみんなでその時間の評価等を確認する時間がもてるようにすることも一つの手立てになるかと思います。次年度の研修でも評価について考える機会を設定できればと思います。

今後も学習評価についても職員研修等を通して、職員間の共通理解を深めていければと思います。

9

【授業づくり】 学部、学年や学習グループ等で連携して授業の振り返りや教材研究に取り組み、課題を共有しながら、共同で効果的な授業づくりが行われている。

● 良い。	10
● やや良い。	19
● やや不十分。	2
● 不十分。	0



・訪問学級に、担任以外の先生も一緒に授業ができたら良かったなと思います。感染症対策で病棟に入ることが難しかったので、次年度からは少し緩和されたらいいなと思います。

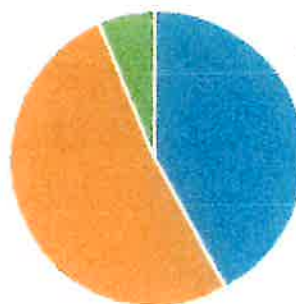
・自分自身もっと準備が必要であると感じている。

・コロナ前は、感染症対策で訪問学級の担当以外、病棟に入ることが難しかったですが、去る5月からコロナが 5 類になり、感染状況も緩和すれば、訪問担当以外の職員も入室できるように学校での感染症対策等もしっかり取りながら、センターと話し合い、確認していきたいと思います。

10

【学習指導(指導力)】 児童生徒の実態や興味・関心に応じた手立て(教材・教具等)を工夫し、常に効果的な授業展開(実践)に努め、発生する課題に応じて授業改善が行われている。

● 良い。	13
● やや良い。	16
● やや不十分。	2
● 不十分。	0



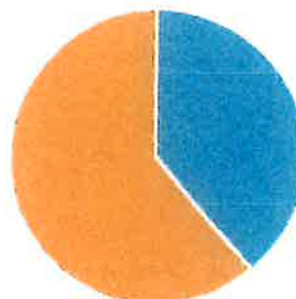
- ・いろいろと必要な教材等は考えていたが、教材教具を作る時間が持てずに作成することができなかった。
- ・教材研究・教材準備の時間がほしい。

・毎月 NO 会議デーを設定しているので、その日を教材研究・準備の時間として活用できればと考える。また各種委員会や会議等の時間や内容等の精選・短縮等に取り組んでいきたいと考える。今後も時間の確保だけでなく、職員間で好事例の共有化や OJT(校内人材活用)など効率的に取り組みたいです。

11

【交流及び共同学習】 障がい者理解の促進に向けて、学校間交流や居住地校交流に積極的に取り組まれている。

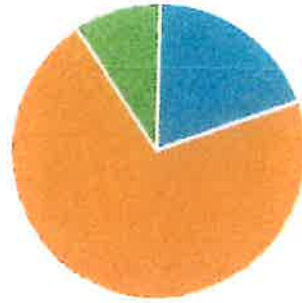
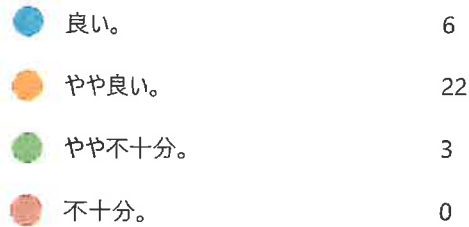
● 良い。	12
● やや良い。	19
● やや不十分。	0
● 不十分。	0



・職員の回答として良い(12名)、やや良い(19名)と比較的高い評価となっている。また「やや不十分」、「不十分」いう回答はなかった。高い評価となった点として、今年度は、コロナが 5 類になったことをうけ、感染状況に応じて、相手校とオンラインでの交流会を持ったり、交流時間や交流内容を工夫しながら直接交流会をしっかり持つことができたことが高い評価になったと考える。

12

【キャリア教育】 障がい者を取り巻く地域社会の課題を踏まえ、児童生徒の自立（就労）と社会参加を見据えて、系統的なキャリア教育や適切な体験活動に取り組まれている。

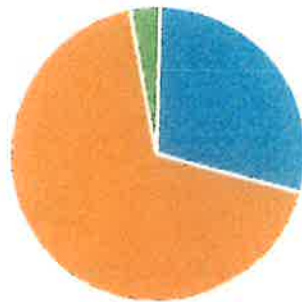
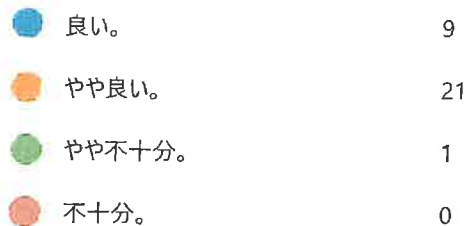


- ・ 系統的な取組がみえない。
- ・ 小学部におけるキャリア教育についてももう少し学ぶ機会があると良い。就労に向けて小学部段階からつけておくの良い力など。
- ・ 学部間の連携や系統性を考慮したキャリア教育の検討

(進路部回答)本校の児童生徒の実態を踏まえた「キャリア教育」をどのように取り組むのかも大切な視点です。今後は卒業後の観点から今の授業に活かす視点とライフキャリアの視点から積み上げていく視点を明確にしていきながら、小学部段階から身につけておくの良い力など、進路だより等を通して資料提供や情報を発信するなどして、系統性をしっかり考慮したキャリア教育の推進を図っていきたいと思います。

13

【生徒指導】 いじめの早期発見や指導時の言葉遣いなど、対処方針及び迅速な対応への体制が図られている。



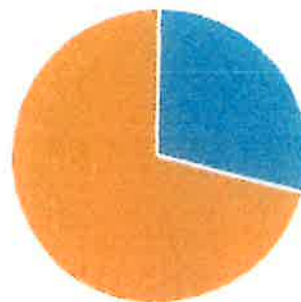
- ・ 児童生徒の実態が重く、いじめ等の生徒指導対応がない。（いじめ防止対策委員会実施あり）

(生徒指導部回答)生徒の実態に応じて担当の先生による聞き取りでのいじめに関するアンケート(今年度は1名)を実施しています。またいじめに関しては、全国的にまた沖縄県全体でも見直してされている重要事項です。本校においては、児童生徒にとってお互いに関わりやすい、心地よい学習環境や授業実践に向けて、職員の言葉遣いや声の大きさなどの振る舞いは、常に意識して丁寧に取りくんでいきたいと思っています。

14

【就学支援及び教育相談】 地域のセンター校的役割を担い、就学指導（支援）や教育相談の充実に努めている。

● 良い。	9
● やや良い。	22
● やや不十分。	0
● 不十分。	0



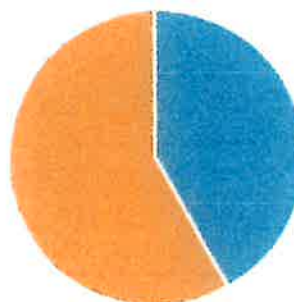
・本校がどの程度地域のセンター校として役割を果たしているかなど、実際の活動内容と実績が把握できていないのできちんと知りたいと感じている。

（支援部回答）コロナ過以前までは就学相談や教育相談の依頼がありましたが、ここ近年本校への相談がありません。昨年度からの活動内容としましては糸満市の就学相談会にて保護者への相談活動、那覇地区コーディネーター連絡協議会にて幼小中高の先生方への相談活動、南部地区自立支援連絡会議へ参加し、医ケア児の支援体制について他機関と情報共有や意見交換を行っています。

15

【校内研修】 課題を共有し、計画的に取り組みながら、教職員の専門性や指導力の向上を含めた課題解決が図られている。

● 良い。	13
● やや良い。	18
● やや不十分。	0
● 不十分。	0

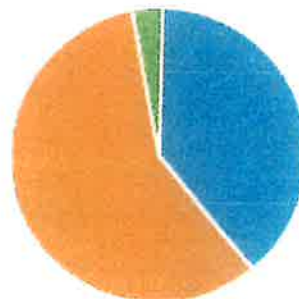


・職員の回答として、良い(13名)、やや良い(18名)と比較的高い評価となっている。今後も研修部を中心に職員研修等を通して、職員間の専門性や指導力の向上を図っていければと考える。また県内外の研修会に積極的に参加(オンライン等含む)するなどして肢体不自由教育や特別支援教育の情報を職員間で共有できればと考える。

16

【自立活動】 自立活動に関する専門的知識の共有や実践研究が行われている。

● 良い。	12
● やや良い。	18
● やや不十分。	1
● 不十分。	0

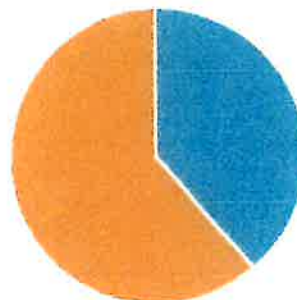


・せっかく自立専科がいるので、日頃の児童生徒の支援の仕方について、実践的に学ぶ機会がもう少しあると良いと思う。

・良い(12名)、やや良い(18名)と比較的高い評価であるが、やや不十分(1名)という回答もみられた。自立活動の充実及び自立活動に係る専門性の維持は、肢体不自由教育の課題であり、今後もその仕組みづくりに取り組んでいければと考えています。

17 【校務分掌】校務の推進にあたり、教職員が組織の機能を発揮し、PDCA サイクルに則り、効率的・効果的に業務が遂行されている。

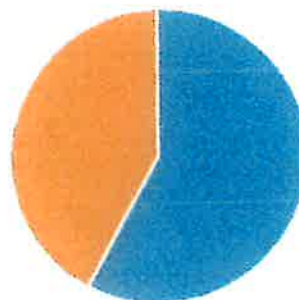
● 良い。	12
● やや良い。	19
● やや不十分。	0
● 不十分。	0



・良い(12名)、やや良い(19名)と比較的高い評価となっている。今後も学校の規模に応じた校務分掌の効率的・効果的な運営方法について、職員間で話し合いを持ちながら、より良い方向に持っていければと考える。

18 【職員会議等】 職員会議や学部会等の諸会議を通じて、学校運営や学部運営を円滑にすすめることができる。

● 良い。	18
● やや良い。	13
● やや不十分。	0
● 不十分。	0

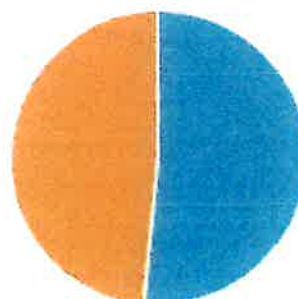


・全体的にやや良いと思いますが、感じたことがあり。意見としてリモートでの会議もいいが行事を控えている7, 9, 10月は、体育館や視聴覚の方が良かったと思いました。また議題が少なくても月に一回の職員会議は行うべきだと・・・。

・ほとんどの職員が良い(18名)、やや良い(13名)と比較的高い評価となっている。コロナ禍で集合型の職員会議等を持つことが厳しい中、Teams による会議に慣れてきて円滑な会議の進行、会議時間の短縮にもつながっているのではないかと考える。今後も会議が円滑にすすめられていける方法を職員間で意見を出し合いながら、より良い方向に持っていければと考える。

19 【緊急・救急体制】 非常時及び緊急時に必要で適切な対応を準備し、危機を回避できる体制が構築されている。

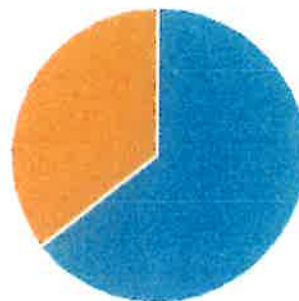
● 良い。	16
● やや良い。	15
● やや不十分。	0
● 不十分。	0



20

【健康・安全・給食】児童生徒の健康・安全・給食指導等に関して、医療的ケアの体制を含め、校務分掌との連携を図りながら、適切な取り組みがなされている。

● 良い。	20
● やや良い。	11
● やや不十分。	0
● 不十分。	0

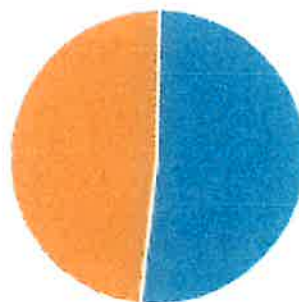


・比較的高い評価となっている。今後も保健安全部を中心に「児童生徒の健康・安全・給食指導」等の取り組みについて全職員でしっかり共有・共通理解を図りながら、本校児童生徒に取って安心・安全な学校生活、教育活動を推進していきたいと考える。

21

【外部への情報発信】定期的にホームページを更新するなど学校の情報発信に努めている。

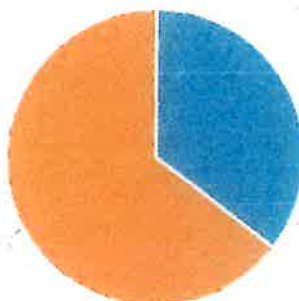
● 良い。	16
● やや良い。	15
● やや不十分。	0
● 不十分。	0



22

【組織や運営に関すること】校内緑化や危険箇所の改善に努め、児童生徒にとって適切な教育環境が提供されている。

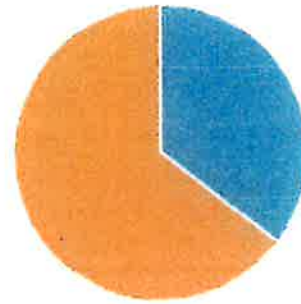
● 良い。	11
● やや良い。	20
● やや不十分。	0
● 不十分。	0



21 良い(16名)、やや良い(15名)と比較的高い評価となっている。今後も情報部を中心に定期的にホームページを更新しながら学校の情報を保護者や外部の方々にはしっかり発信していければと考える。

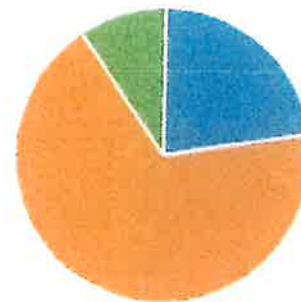
22 良い(11名)、やや良い(20名)と高い評価となっている。今後も環境整備主任を中心に小規模の学校なりのやり方で全職員で協力・連携しながら校内緑化・環境美化に取り組んでいければと考える。

● 良い。	11
● やや良い。	20
● やや不十分。	0
● 不十分。	0



・良い(11名)、やや良い(20名)と比較的高い評価となっている。今後も児童生徒にとって安全で効果的な活動ができるように限られた予算内ですが、施設設備の整備・管理に努めていきたいと思います。

● 良い。	7
● やや良い。	21
● やや不十分。	3
● 不十分。	0



・児童生徒減に伴い、役員の選出が難しかったり、評議員会への保護者の参加が少数であったりと、厳しい現状がある。小規模校なりの運営の仕方を、今後も引き続き検討していく必要がある。

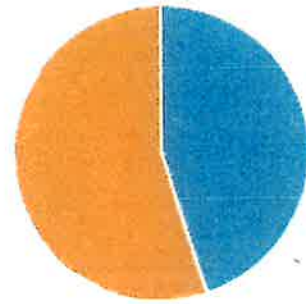
- ・系の職員の負担が大きい割に保護者の参加が少ない。P と T が対等ではない。存在意義について保護者の意見を聞いてみたい。
- ・一部の保護者の負担が大きくないか。全体的な活動が活発でないのなら、評議員会の回数や、PTA 行事の精選も必要ではないか。

(渉外部回答) 急ぎの議題がない時は、PTA 評議員会の回数を減らすなど、系の職員に負担のないように今後も柔軟に対応していきたい。児童生徒・職員数減に伴い、PTA 活動も以前ほど活発ではないかもしれないが、今年度は、PTA 作業や沖特 p 協スポーツ大会への参加、親睦ソフトバレー等、コロナが 5 類になり、職員と保護者が交流する機会も増えた。参加した保護者もたいへん喜んでた。今後も小規模校なりの運営の仕方を職員・保護者が一緒になって検討していきたいと思います。

25

【職場環境】 教育上の課題や人間関係の課題等について、互いに対話できる雰囲気になっている。

● 良い。	14
● やや良い。	17
● やや不十分。	0
● 不十分。	0

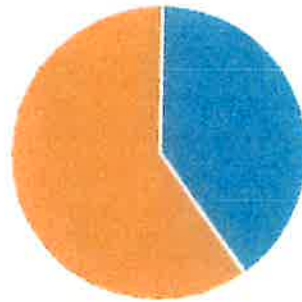


・ほとんどの職員が、良い(14名)、やや良い(17名)と比較的高い評価となっている。今後も小規模校の強みを活かしながら、学校運営、児童生徒対応等、学部の垣根を越えて全職員間で連携・協力しながら一緒に取り組んでいきたいと考える。

26

【組織や運営に関すること】 職員間の連携について。

● 良い	12
● やや良い	18
● やや不十分	0
● 不十分	0



・今年度は、修学旅行、校外学習など少しずつ外部に出られる学習も行えるようになり、とても良かったです。

・学校としての保護者への連絡や情報発信について、本校では他校のようにまちこみメール等が導入されておらず、児童生徒担当が直接、電話等のやりとりをする場面が多い。お便り日も月に一回なので、情報発信（連絡等）は他校のようにまちこみメール等の活用を検討した方がよいのではないか。それだけでも職員の負担は減ると思う。

→まちこみメールの活用は、大規模校においては一斉に情報を発信し有効であると考え。しかし本校のように年々児童生徒数が減少する小規模校においては、まちこみメールの登録、維持、管理する職員の負担も大きいと考える。次年度は全児童生徒数 20 名（通学生 2 名）ですので、今まで通り、直接電話等でのやり取りをお願いします。

・先生方いつもお疲れ様です！

・学部の雰囲気は良く居心地がよいです。しかしお家化していませんか？学校のだからいいやと思っていませんか？言葉の使い方は？これぐらいは何とかなる。など、第三者的な見方をしたらどう見えるだろう？と考えるとなおすべきことは多くあるなど感じます。

→貴重な意見ありがとうございます。職員の言葉遣いや生徒への対応、振る舞いは、保護者や外部の方が見たり、聞いたりしたらどう思うかの視点を常に意識しながら、職員間で気になる言葉遣いや振る舞い等は、積極的に注意しながら、気持ちの良い職場環境、関わりやすい、心地よい学習環境や授業実践に向けて、丁寧に取りくんでいければと考えます。